

第4回 あまくさ創生実践会議 会議録（概略版）

日 時	平成27年8月28日（水）13:30～16:30
場 所	天草文化交流館 2階 展示室
出席者	別添名簿のとおり
議 題	(1) 前回会議録の承認について (2) 前回までの協議事項（ひと・しごと）の確認について (3) 施策協議（ひと・まち）について (4) その他
資 料	資料1：天草市まち・ひと・しごと「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像(案) 資料2：《基本目標》若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 資料3：《基本目標》市民が誇りを持ち安心して暮らせる地域をつくる 参考資料：前回課題に対する回答票 女性の就業者数及び就業率 熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）（素案）等

議題（1）前回会議録の承認について

会 長： 前回の議事録について、内容をご確認のうえ、何か不足等ある方は事務局にお伝えいただくこととしたい。

委 員： （特に意見なし）

議題（2）前回までの協議事項（ひと・しごと）の確認について

事務局より、資料1に基づき説明。

会 長： 現時点における天草市まち・ひと・しごと「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像として整理していただいた。これに関して、疑問点、ご意見等ないか。

委 員： 「女性の就業率46%」との目標があるが、就業率というものは、全年齢層を合わせた数値になっているので、天草はたまたま低いと言える。天草の場合は高齢者が多いので、その世代を含めた就業率ではあまり意味をなさないと考える。

次に「有効求人倍率」についてだが、全国的に見て上昇傾向にあり、天草も上昇している状況を踏まえると、「0.95倍」という目標倍率は、おそらく来年あたりには達成するのではないかと思う。したがって、目標数値としては「1倍」以上を設定するのがいいように思う。

事務局： ご指摘のとおり、女性の就業率算出には、高齢者と15歳～19歳の若者も含んでいる。ご意見をもとに目標値について再検討させていただく。

また、「有効求人倍率1以上」という目標設定については、天草市で設定す

る目標として適当かどうか再検討させていただく。

会 長： 是非よろしく願います。ちなみに、こういう指標を作るときには、ご指摘にもあったように、女性全体で見ると現実性が出てこないというのが事実だと思う。「この世代のここが課題」、「この世代が帰って来ないとこの地域の持続性が保たれない」とか、具体的観点を盛り込み、データを具体化させることが必要だ。

委 員： 就業率は65歳以下（開始を15歳以上するか20歳以上にするかは意見が分かれると思うが）にするのはどうか。

また、天草で言うならば、働く世代の女性の就業率は高く、出産・子育てで仕事を辞めることが少ないと言える。これはむしろ先進的な事例と言っていいくらいだと思う。ただ、課題としてあるのは給料が低いということなので、目標に掲げるのであれば、「熊本県で給料が一番高い自治体」としてもいいのではないか。

会 長： 天草市と首都圏とで、単に所得を比較するのではなく、例えば給料における自由に使えるお金の幅がどれだけあるとか、天草市なりの指標にしてもらえればいいと思う。

ほか、ご意見はないか。

委 員： （特に発言なし）

会 長： 意見がなければ、次に、前回事前課題をお願いしていた内容について発表をお願いします。

～事前に提出にあった5団体より、回答票に基づき内容を発表～

会 長： 発表いただいた皆さんの意見に共通する観点として「Uターン」に関するものが多かったように思う。天草市は島であるので、人に来てもらうという構造は外せない論点だと思う。Uターンという観点からの分析や戦略は大切だなと思って発表を聞かせていただいた。

また、結婚・出産・子育てについては、多角的な支援に加え、あえて重点的に取り組む必要があるものの確認も今後行っていく必要があると感じた。

ほか、委員の方のご意見はどうか。

委 員： 発表の中で「病児保育」の話題があった。利用したいという方が40%強い一方で、利用したいと思わないという方が50%強い現状である。利用されたい方も、本当は休みが取れば利用したくないものの職場で休みがとりづらいという面があるのではないかと感じる部分がある。「働き方」について考えることも必要と感じた。

また、子育て・教育にかかる負担が大きいとの不安や悩みを抱えていらっしゃる方が約47%いる状況にある。天草市においては、5歳児健診など、子育て面の事業について取り組みを行っており、熊本県内でも子育て面では施策を打っている自治体と言えると思う。しかし、福祉分野については、相談を受けて支援をするという面もあり、プラスの部分で外にアピールものが弱いかなども感じている。

委員： 外から人を呼び込むということに焦点があたっているが、一番早いのは人材が不足している職種と人とのマッチングだと思う。また、高校生などが地元で就職できる支援をする取り組みも必要なのではないかと感じた。そうすることで、地元の人が外に出て行かないことにもつながるのではないと思う。

会長： 情報提供だが、鹿児島県長島町と富山県氷見市では、地方創生戦略で「ぶり奨学金」というプログラムをやろうというアイデアが出てきている。

長島町には高校がなく、氷見市には大学がない。そうすると、子どもを外に出さざるを得ない親の負担は大きくなってしまっているので、奨学金を出そうというもの。そして、ある一定年齢に達するまでに（年齢はまだ決定していない）戻ってきたら、その戻ってきている期間は奨学金の返済を免除するというプログラムを検討しているところである。奨学金を受けた人は、外に出たままであれば当然奨学金を返済することになり、帰ってくるのであれば奨学金返済を免除という、2種類から選ぶことができる。

このように、地域のUターンを促進する取組むためのアイデアとしてこれまでより一歩踏み込もうというものがあるという事例として紹介する。

委員： 子育て支援策は、天草はしっかりやっていた感じを持っている。

ただ、子育て支援とはマイナスをゼロに持っていくだけであるし、介護の問題もある。50歳以下の人口で、ようやく天草市総人口の半分に達する状況から、高年齢層が多く住む島と言える。家族は介護で大変であることを考えるとフルタイム勤務は厳しい。一方で、アマビズに相談に来る方でフルタイム雇用は難しいとおっしゃる方もいる。大企業と勝負するならばフルタイムでなければならないが、天草ではそうではない。違った軸で勝負した方がいいのではないと思う。

なので、働き方に関して、天草では新しい就労モデルを提示し「天草は他の地域ではできない新しい働き方ができる島」とうたうのはいいのではないと思う。クラウドソーシングなど新たに取り入れるなどし、天草で稼げ、子育てもできる、介護も両立できるということができる島になればいいと思う。

また、Uターン・Iターンに関して、年間600件程の相談があっているとのことだが、その数値には正直驚いた。空き家バンクの登録も増えてきているということであれば、市が「600軒の空き家求む」と表に数値を出しているのではないと思う。また、天草にはあらゆる仕事があるとも言っているし、どんな人でもどんどん呼んだ方がいいと思う。ただ、来る人の中には現実逃避の方もいるだろうし、何らかの苦勞をする人もいると思うが、それに対して市が責任を持つ必要はない。

会長： では、休憩に入る前に、戦略を練る際のヒントとなるよう、前回説明を受けた産業連関分析における「コネクター」「ハブ」について、追加の説明をお願いしたい。

～地方経済総合研究所より、内容の説明～

会長： 説明にもあったが、天草には「コネクター」も「ハブ」も存在するが、その

両方を兼ね備えた分野をどう作るかというところが戦略として必要となると言える。

以上のやりとり後、議題2は終了。

議題（3）施策協議（ひと・まち）について

事務局より、議題（3）に関する資料について説明。

会 長： 基本目標4については、これまでの3つの目標を積極目標とするならば、それ（ひととしごとの好循環）を支えるまちの活性化とは何かという観点で考えようというものになる。みなさんから「こんな観点があるのでは」という意見をうかがいたいがいかがか。

委 員： 「市民が誇りを持ち安心して暮らせる地域をつくる」と目標に書かれているが、なぜ誇りを持たなければならないのかしっくりこない。誇りを持ったからと言って、果たして好循環になるのか。何か具体的な提案があるわけではないが少し引っかかった。

会 長： たしかにご指摘のとおり。よく使われるフレーズだが、意味が捉えづらく共感しにくいとも言える。再検討をする必要がある。ほか、ご意見はないか。

委 員： 「まち」とは何か。天草市のどこが「まち」で、どこが「まち」でないのかイメージしにくい。

会 長： 本渡市街地を言うかと言えばそうではなく、広い意味で捉える言葉と言えると思う。天草市という空間を指しているのではないかと思うが、その中で人が集まっている部分を「まち」と言うのか、曖昧なものではあるが、厳密に決めるのは難しい。

事務局： 参考までに、合併後の天草市においては、小学校区単位で51行政区を設けている。それを「まち」と捉え、まちづくりに取り組んできた。

委 員： 小学校区単位の考え方は残したいと思うが、その小学校区の分け方のバランスを考えるのも必要ではないかと思う。

委 員： 市の取り組みの紹介をしたい。現在天草市には2つの道の駅が存在しているが、市長はこれを7つくらいまで増やしたいと考えておられ、それを小さな拠点とし、その周辺に様々な機能を整備するという取り組みが進められている。

会 長： 小さな拠点を軸とした戦略も是非練っていただければと思う。ほか、ご意見はないか。

委 員： 指標についてだが、まちの活性化を図るときに、対流人口は欠かせない。まちに出てくる人数が大きな指標になるのではないかなと思う。

会 長： 是非そういう観点もヒントにしていきたい。

参考までに、交通戦略という観点もある。域外から来る人をある特定分野でつくるためにどうするかとか。交通分野に関しても是非ご検討いただきたい。

事務局： 交通分野の取り組みとして、協議が進んでいる部分があるので情報提供させていただく。陸路としては、上天草を通して熊本市内へ向かう路線があるが、長崎や鹿児島と結ぶ路線として、航路の充実も検討している。地方創生には広

域連携という考え方がありますので、これが皆さんにお話しできるような形でできれば、改めて情報提供させていただきたいと考えている。

会 長： 是非、タイミングをみて情報提供をお願いしたい。

議題（４）その他

会 長： それでは、これまでも含めて、次回に向けた話に入る。

次回10月の会議の際には、これまでの意見をまとめたものを出していただきたい。これまで予定でどおり協議は進んでいるかと思う。何か追加でご発言等ないか。

委 員： 飲食店経営者の立場から少し意見を述べさせていただきたい。

これまで仕入れ等の見直しを行って行く中で、天草の物を使っていこうと考えてやってきた。しかし、天草の人が島外のものを選びたいと言う方が意外と多いと分かった。例えば、焼酎については「黒霧島」「白岳」を選ばれる。こちらがいくら「天草」を準備しても、なかなか選んでもらえないのが実情。天草酒造さんが「池の露」を作られているが、今は天草島内には卸さなくなっているため、逆に島外の酒屋から天草に仕入れを行うような状況である。天草で需要が高まってくれば、天草にも卸してもらえるようになると思う。島外の産品に支払われる代金が天草産のものに支払われることになれば、天草が潤うことにもなる。ここにお集まりの皆さんからでいいので、是非お客様側の方から天草産のものを選んでいただけるようになれば、「コネクター」が「ハブ」へと変わっていくのではないかと思う。

会 長： 商工会とはJCとかで、地域としてこれを押しているんだよ、というのが分かるようにマークを付けたりするとか、地域に雇用創出効果があるものを認定するとか、例として考えられる。ある意味こういったことは行政ではしにくいかもしれないので、民間が主体となってそのような制度を作るのもいい。次回の案にそういうものも入れてみて、実現できるかどうか投げかけてみるのもいいのではないか。

委 員： 先日市民の方の前でお話しする機会をいただいたときに、意見交換する中で、みなさんが天草の魅力と感じているところと、紹介する場所がマッチしていないということに気付いたし、地元のお店で買きましょう、とか、これから天草で新しい取り組みをしようという取り組みをする人がいたら積極的に応援しようということも必要と感じた。

また、通常相談業務を受ける他にも、みなが集まる場を提供しているが、その中で「天草ヘルシースイーツ大作戦」や「天草肉球プロジェクト」とかいったアイデアも出ている。こういった人が集まれる場づくりとか、ソフト面の取り組みも大事だと思う。

会 長： そういった観点も大事だと思う。

(以上)

あまくさ創生実践会議 委員名簿

H27.7.22 現在(順不同)

		所属	役職	氏名	備考
1	会長	慶應義塾大学	教授	タマムラ マサトシ 玉村 雅敏	
2	副会長	天草市まちづくり協議会連絡会	会長	ナカガワ タケハル 中川 竹治	欠席
3	委員	本渡五和農業協同組合	代表理事常務	ユ スキ アキオ 湯貫 秋男	欠席
4	委員	あまくさ農業協同組合 指導販売部	果樹園芸課長	ゴトウ ノブユキ 五嶋 伸幸	
5	委員	天草地域森林組合	代表理事専務	カワチ コウイチ 河内 公一	
6	委員	天草漁業協同組合	総務課長	ウエダ コウイチロウ 植田 弘一郎	
7	委員	(一社)天草宝島観光協会	事務局長	イワミ リュウジロウ 岩見 龍二郎	
8	委員	天草市起業創業・中小企業支援センター	センター長	ノマ ヒデキ 野間 英樹	
9	委員	天草経済開発同友会	委員長	ヤマモト ヒロシ 山本 博	
10	委員	(一社)天草本渡青年会議所	副理事長	カミ タケシ 上 剛司	
11	委員	牛深青年会議所	理事長	オカベ ノブヒロ 岡部 伸大	欠席
12	委員	本渡商工会議所	事務局長	ホリタ ショウジ 堀田 照二	
13	委員	牛深商工会議所	常議員	エザキ タカシ 江崎 孝	
14	委員	天草市商工会	経営指導員	マツモト トシユキ 松本 利幸	欠席
15	委員	天草市保育所連盟	会長	スサキ トヨヒロ 洲崎 豊裕	欠席
16	委員	天草市県立学校長会	代表	マエダ ミチハル 前田 三千治	
17	委員	連合熊本天草宇城上益城 地域協議会天草地区連絡会	幹事	ミヤザキ エイジ 宮崎 英治	
18	委員	天草市社会福祉協議会	本渡支所長	ハスイケ ミチヨ 蓮池 美智代	
19	委員	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ	理事長	サワダ フクミ 澤田 福美	
20	委員	天草お産路	代表	ナカバヤシ マドカ 中林 円	
21	委員	肥後銀行 天草支店	支店長	ヨコセ ヒデオ 横瀬 英夫	
22	委員	熊本銀行 天草支店	支店長	イチグチ カツヤ 一口 勝也	
23	委員	天草信用金庫 融資部	審査上席専任役	ワタナベ カズナリ 渡邊 一成	
24	委員	天草広域本部	総務部長	ハジメ キミオ 一 喜美男	
25	委員	天草市地域振興部地域政策課	課長	スガワラ ヒロアキ 菅原 弘晃	
26	委員	天草市健康福祉部健康福祉政策課	課長	イセザキ ユウキ 伊勢崎 裕樹	
27	委員	天草市経済部産業政策課	課長	オオタ ヤスト 大田 安人	
28	委員	天草市観光文化部観光振興課	課長	ワタナベ ヒデト 渡邊 英人	
29	委員	天草市教育部教育総務課	課長	ヤマナ スナオ 山名 直	
		天草市総合政策部	部長	カネコ マサヒデ 金子 正秀	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長	シオサキ トシヒコ 塩先 敏彦	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	係長	ヒラヤマ タカヒロ 平山 高広	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	参事	カドグチ トオル 門口 徹	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ムカエダ マサタカ 向田 正隆	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ナカガワ ジュンコ 中川 淳子	